

【第七十七回卒業証書授与式を終えて…】

素晴らしい三年生そしてみんな……】

先週の金曜日、卒業式を無事終えることができました。式の準備から片付けまで、一・二年生のみなさんが本場に一生懸命取り組んでくれたおかげで、立派な式になりました。本場なら体育館と一緒に参加してもらいたかったけれど、スペースの関係でどうしても叶わなかった。でも、教室で映像を見ながら、きつと代表で参加してくれた仲間達と同じ気持ちで参加してきてくれたのだと思います。

みなさんの目に、卒業した先輩たちの姿はどのように映っていたのでしょうか。先輩たちが頑張っていた姿、歌声の様子はきつと伝わったのではないかと思います。【百聞は一見



にしかず」といいますが、みなさんは三年生を送る会での発表や、今までの生活を通して卒業生たちの真の姿を知っています。だからこそ、映像を通してであったとしても、「感じる」ことができたのではないのでしょうか。

感じて会得することを、少々難しい言葉で『感得する』といいます。(幽玄な道理などを悟り知るという意味もあります)実際にその場で見聞きできなくても、きつと何かを感じ取ってくれたはず。その思いを大切にしていきたいでしょう。

さあ、今日からは三年生はいません。二年生のみなさんは全ての活動において名実ともに南部中の中心です。先輩たちからみなさんが南部中を引き継いで、先輩たちが築き上げた伝統の上に、さらにみなさん自身の新しい伝統を築き上げていくのです。

全校のリーダーとなった二年生、すでに修学旅行への取り組みがスタートしているとも聞いています。実施は五月末ですから当然かも知れませんが、三年生を送る会での見事な発表や大リーダー会を受けて、それら全てを自信として、全ての活動において全校を力強く引っ張っていただく。

一年生は、間もなく先輩になります。あと一月ほどで「先輩」と呼ばれるのです。心の準備はできていますか。教えられる立場から、教える立場へと変化していくのです。この一年間で成長してきたことを自信として、次の

ステップへと駒を進めていきましょう。クラス編成もありますね。八クラスから七クラスへと変わりますが、学年は一つです。一人一人、みんなの力を合わせてください。そうすれば必ず、素晴らしい結果はついてきます。

一年を通じた中学校の行事の中で、最も大切なものが卒業式なのです。なぜなら、義務教育九年間の締めくくりとなるからです。本場に素晴らしい式を終え先輩たちは南部中を出航していききました。次は、残された私たちが頑張る番です。二十二日の修了式まで残された時間を有効に使って、次のステップ、進級への準備を確実に進めておきましょう。

新年度の始業式は四月八日、入学式は翌九日です。新しい出会いも待っています。一・二年生のみなさんが力を合わせ、学年・学級をしっかりとまとめ、そして、新入生を迎える準備を確実に進めていきましょう。部活動もいろいろな部で春の県大会に向けての取り組みが始まっています。準備万端で整えていきましょう。

新たな目標、新たなものに触れるにはちょうどよいタイミングかも知れませんが、私は、新しい本を三冊買いました。南中生のみんなは何から始めますか？また聞かせてください。ね。(今年の校長チャレンジ大賞は三年生の小川君に決まり、先日表彰しました。みなさんの興味関心を、ぜひレポートにして、まとめてみてくださいね。待っています!!。)